

## 数値の書式指定フォーマット変換

### 日付型式データの文字列変換関数

### 日付型変数へのデータセット方法

#### 数値の書式指定フォーマット変換

数値を数値型のまま指定フォーマットで表示することは出来ない

文字列に数値を変換して、その時にフォーマット書式を使う

使用方法

a := TO\_CHAR( 数値 , 'フォーマット書式' );

a := TO\_CHAR( -100 , 'S999,999,990.99' ); →△△△△△△△-100.00

文 字	意 味
0	該当する桁がなければ、0を表示する
9	該当する桁がなければ、空白を表示する ただし、小数点以下の場合は0を表示する
S	符号の表示位置
, カンマ	カンマ形式の区切り指定
. ピリオド	小数点の位置

#### 日付型式データの文字列変換関数

dtDATE は、2009/02/14 13:10:30 がセットされている日付型変数

使 用 例	実 行 結 果
a := TO_CHAR( dtDATE );	09-02-14
a := TO_CHAR( dtDATE , 'YYYY/MM/DD' );	2009/02/14
a := TO_CHAR( dtDATE , 'YYYY/MM/DD HH:MI:SS' );	2009/02/14 01:10:30
a := TO_CHAR( dtDATE , 'YYYY/MM/DD HH24:MI:SS' );	2009/02/14 13:10:30
a := TO_CHAR( dtDATE , 'D' );	7 日曜日 : 1 月曜日 : 2
a := TO_CHAR( dtDATE , 'DY' );	土
a := TO_CHAR( dtDATE , 'DAY' );	土曜日
a := TO_CHAR( dtDATE , 'MONTH' );	2 月
a := TO_CHAR( dtDATE , 'MON' );	FEB
<b>和暦使用の方法</b> NSL パラメータ NLS_CALENDER に 'JAPANESE IMPERIAL' をセットする ALTER SESSION SET NLS_CALENDER = 'JAPANESE IMPERIAL' ;	
a := TO_CHAR( dtDATE , 'EYY/MM/DD' );	H20/02/14
a := TO_CHAR( dtDATE , 'EEYY"年"MM"月"DD"日"' );	平成 21 年 2 月 14 日

## 日付型変数へのデータセット方法

使 用 例
dtDATE DATE ; -- 変数定義
dtDATE := TO_DATE('2009/02/14', 'YYYY/MM/DD');
dtDATE := TO_DATE('2009/02/14 13:10:30', 'YYYY/MM/DD HH24:MI:SS');

## 日付形式のデータの表示フォーマットの指定

デフォルトの日付表示フォーマットを宣言する

```
alter session set NLS_DATE_FORMAT = 'yyyy/mm/dd hh24:mi:ss';  
select sysdate from dual;
```

```
SYSDATE  
-----  
2018/06/28 09:22:28
```